対象：乳幼児をもつ保護者（学童期も可）

時間：６０分程度

|  |  |
| --- | --- |
| ねらい | * 子どもの育ちには、安心することと自らの意思で挑戦することの繰り返しが重要であることに気付き、子どもの権

　利を意識した関わりについて考える。 |
| 実施のポイント（評価など） | * 日常生活の中での子どもの考えや気持ちに気付くことができるようにする。

〇　安心したり挑戦したりすることを繰り返しながら子どもが成長することや、子ども一人一人が尊重され、権利が守られる中で、自尊感情が育まれることの大切さを実感できるようにする。 |
| 事前準備 | ○　あらかじめ４～６人程度のグループに分かれておく。○　筆記用具　　　　　　　○　ワークシート　　○　アンケート用紙（必要に応じて）　　○　資料○　付せん紙（青・黄）　　○　模造紙　　〇　油性マーカー　　○　名札　　〇　絵本（読み聞かせをする場合） |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| ５分**導 入** | ・ワークの趣旨説明・３つの約束・アイスブレイク（自己紹介） | ・参加者の緊張をほぐし、和やかな雰囲気をつくる。・自己紹介で「我が子のいいところ」を紹介し合うことで、互いに親近感がもてるようにする。 | 名札３つの約束 |
| 20分**展 開** | **ワーク１**・子どもが何かに夢中になったり、自ら挑戦したりする姿を思い出して、付せん紙に書く。・グループで話し合う。 | ◎エピソードのように子どもが何かに夢中になったり、自ら挑戦したりする姿を思い出して話し合うことで、子どもの意思に気付くきっかけをつくることをねらいとする。・エピソードを読んで、母親の気持ちや子どもの気持ちについて話し合う。・日頃の子育て場面から、子どもが夢中になったり挑戦したりする姿を思い出して付せん紙（青）に書き出す。・その時の親の思いや気持ち、感動したことや難しさなどを付せん紙（黄）に書き出す。・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り付けながら、自由に話し合う。その際、似た場面の付せん紙をまとめる。・プラスのイメージとマイナスのイメージのどちらも認めることができるようにする。・付せん紙から出てきた場面での子どもの考えや気持ちなどを想像できるようにする。・この活動を通して子どもの意思に気付き、寄り添えるようにする。 | ワークシート付せん紙（青・黄）油性マーカー　模造紙 |
| 10分 | **読み聞かせ****または資料紹介**・絵本の読み聞かせ、または資料の紹介をする。 | ◎絵本または資料をとおして、普段の子どもへの関わりについて、自分自身を振り返ることをねらいとする。絵本の読み聞かせを選択する場合・親子の気持ちを感じられるよう、工夫して絵本を読む。・読み聞かせの後、絵本の感想を交流する。絵本の話についての感想でもよいし、自分自身を振り返りながら、日頃の子育てに重ね合わせた感想でもよい。資料の紹介を選択する場合・資料を用いて、子育てのヒントにつながる「自尊感情」「人権教育」「安心と挑戦の繰り返し」などについて紹介することで、就学前に必要な大人の関わりについて確認する。 | 読み聞かせの場合絵本「ママがおこるとかなしいの」資料１の①資料１の②資料紹介の場合資料２の①資料２の②資料２の③ |
| 20分 | **ワーク２**・普段の関わりを振り返り、今後心がけていきたいことを記入する。・グループ内で発表する。 | ◎親として、子どもの意思を尊重した関わり方について考えることをねらいとする。・ワーク１や紹介した絵本、資料を踏まえ、普段の関わりを振り返り、今後心がけていきたいことを出し合う。子どもの考えや気持ちに寄り添った言葉掛け、安心したりやる気を出したりできるような言葉や関わり方について、日常の場面を話題にしながら考える。 | ワークシート |
| ５分**まとめ** | **ふりかえり**・資料を提示する。・今後、取り組みたいことを一つ選んで記入する。 | ・子どもの考えや気持ちに寄り添い、思いが実現するように支えることが「子どもの権利を意識した関わり」であることを知らせる。・本時で選択しなかった資料を、必要に応じて参考資料として提示する。・本日の話し合いの中で、「これはできそう」とか、「これをやってみよう」と思うことを一つだけ選んでワークシートに書き込むことにより、実際の行動につなげる。 | ワークシート本時で選択しなかった資料を必要に応じて提示 |